

# 一度目より二度目の方が・・・！ 愛川体験学習

今年度はまだゴールデンウィークが終わりきっていない5月8日、9日に愛川体験学習が開かれました。例年より少し早い体験学習だったので、「4年生と5年生の連携がうまく取れるかな」とちょっと心配だったのですが、そんな心配は杞憂に終わり、みんなとても仲良く活動することができました。ここに子供たちの活動の様子をお届けいたします。

わたしは愛川へ行って思ったことがあります。それは「自然をととても大切にしているなあ」ということです。愛川ふれあいの村を歩いてみても、花、木、草などでいっぱいでした。そこには、「草や花をとらないで」という看板がたくさんありました。それを観て、わたしは栃木に住んでいるいとこの家の近くを思い出しました。いとこの家の近くはあまりたて物がなく、草や花や山でいっぱいです。「そこが愛川に似ているなあ」と思いました。

4年 鈴木 結衣子

ぼくは愛川ふれあいの村にいつてきました。自分の心の中では「もう、一度行ったところだからつまらないなあ」と思っていました。でも実は二度目の方がおもしろかったのです。それは水族館に行けたからです。オタマジャクシをつかめたり、天然記念物のオオサンショウウオを見られたり、もううれしいかぎりでした。

ふれあいの村についてカレー作りが始まりました。ぼくは調理をしたかったのに、友達に全部やられてしまったのがくやしかったです。

出来上がって食べようとしたけど、班の人が一人いなくて食べられませんでした。友達がきたころには、ぼくはもう一口食べていました。おいしいカレーができてよかったです。

5年 西 健人

カレーを食べた後、一度自分たちのロッジへもどりました。用意をしてキャンプファイヤー場へむかいました。クラスの出し物で使うマ

ラカスとバンダナを手に持っていました。友達と「楽しみだね」と言っているとキャンプファイヤーが始まりました。

司会の人が始めの言葉を言ってから、風の通り道を歌いました。わたしはこの歌が大好きです。次に「もしもし亀よ」の山本先生の手たたきゲームをしました。「まってました。」いよいよクラスの出し物です。「5年1組は、5の1サンバです」とクラスの代表の人が言い、各クラスの出し物が始まりました。4の1は最後でした。和田さんが「せーの」と言ったら、みんなであいさつをします。最初はかいじゅうのバラード、次に「つえサンバ」「・・・つえサンバオーレ」で出し物が終わりました。みんなに拍手をもらったのでとてもうれしかったです。

4年 遠入 弘菜

わたしは目的別活動であいぞめをやりました。あい染はレインボープラザというところで、やりました。始めにお湯や水で何回も洗います。

